

■本校卒業生(学生)の印象、本校に求めること(配布数30)

・採用にあたってどのような点を重視しますか

		重視する	どちらかといえば重視	一概に言えない	どちらかといえば重視しない	重視しない
1	学力(専門・基礎)	13.3%	40.0%	30.0%	13.3%	3.3%
2	人物(積極性・協調性など)	76.7%	23.3%	0.0%	0.0%	0.0%
3	職務能力の適性	36.7%	30.0%	33.3%	0.0%	0.0%

・卒業生(学生)の印象について、どのように評価されますか

		優れている	どちらかといえば優れている	普通	どちらかといえばやや劣る	劣る
1	高校卒業程度の基礎的な知識	40.7%	22.2%	33.3%	3.7%	0.0%
2	専門デザイン分野に関する知識	44.4%	40.7%	14.8%	0.0%	0.0%
3	デザインの動向や業界に関する知識	26.9%	38.5%	30.8%	3.7%	0.0%
4	専門分野以外の高度な知識	7.7%	34.6%	50.0%	7.7%	0.0%
5	既存のデザインの理解と、オリジナルな作品制作の技能	28.6%	50.0%	17.8%	3.5%	0.0%
6	担当業務の課題を発見し、解決策を提案する能力	18.5%	48.1%	33.3%	0.0%	0.0%
7	優先順位をつけて、仕事の段取りをする能力	11.1%	40.7%	44.4%	3.7%	0.0%
8	仕事を期限内に仕上げる能力	19.2%	53.8%	23.1%	3.8%	0.0%
9	組織における自分の役割を認識し、職場に貢献できる能力	28.0%	48.0%	24.0%	0.0%	0.0%
10	取引先や顧客などに対するコミュニケーション能力	21.4%	39.3%	32.1%	7.1%	0.0%
11	オリジナリティを尊重する倫理観	21.4%	50.0%	28.6%	0.0%	0.0%
12	生涯学び続ける力	22.2%	51.9%	22.2%	3.7%	0.0%

■インターンシップ学生評価

・基本評価

		優れている	やや優れている	標準的	やや劣る	劣る
1	取り組みの姿勢・態度	51.4%	24.3%	8.1%	13.5%	2.7%
2	自己成長への意欲	43.2%	21.6%	21.6%	8.1%	5.4%
3	担当した業務の達成度合	48.6%	24.3%	16.2%	8.1%	2.7%

・行動評価(新入社員に求める水準に照らしての評価)

		優れている	やや優れている	標準的	やや劣る	劣る	
1	前に踏み出す力	主体性	48.6%	16.2%	24.3%	8.1%	2.7%
2		働きかけ力	18.9%	32.4%	35.1%	8.1%	5.4%
3		実行力	29.7%	45.9%	13.5%	8.1%	2.7%
4	考え抜く力	課題発見力	24.3%	27.0%	37.8%	5.4%	5.4%
5		計画力	16.2%	43.2%	32.4%	5.4%	2.7%
6		創造力	27.0%	29.7%	32.4%	8.1%	2.7%
7	チームで働く力	発信力	24.3%	21.6%	37.8%	10.8%	5.4%
8		傾聴力	43.2%	24.3%	18.9%	8.1%	5.4%
9		柔軟性	29.7%	27.0%	29.7%	10.8%	2.7%
10		状況把握力	27.0%	35.1%	24.3%	10.8%	2.7%
11		規律性	45.9%	24.3%	16.2%	8.1%	5.4%
12		ストレスコントロール力	13.5%	27.0%	48.6%	8.1%	2.7%

・インターンシップ終了後企業アンケート「学校へのコメント(抜粋)」

学校教育では、携わる事のできない実践的な内容に特化して指導いたしました。実社会で最も大切な経済的な側面で建築について学んでもらいました。事務所の検討課題を5日間できちんと検討して答えを出してくれました。あまり事前に期待していなかったのもとても驚きました。設計事務所でも働けそうに感じました。意欲のある学生さんと関わる機会をいただき、本当にありがとうございました。若い感性に触れ大変刺激をいただきました。これからも、若者の力が育つように応援しつつ、私も勉強させていただきます。今回のインターン期間中では、弊社スタッフから話しかけられるまで、しゃべらず、動かずの5日間でした。失敗とか関係無い期間なのに、少し残念だったように思います。

所感	1 コミプロ企業アンケートでは、今までは学生に関するコメントが中心だったが、「企業間での話ができる交流があれば良いと感じました。(アンケートの)評価数も多く、実際にあの場面でこれらを把握するのは無理があるように思います。先生方の取り組みに対する考えなども知りたい。」などイベントの内容に触れるものがあり、今後のイベント改良の参考にした。
	2 昨年度のインターンシップはコロナ禍のため実施が困難であったが、昨年度は回復傾向がみられた。今年度はコロナ禍前のインターンシップ実施に戻すことができ、企業様の不都合以外は学生全員実施することができた。
	3 今年度は調査票計78社より回収率92.3%。(企業数内訳: CtoCコミュニケーションプロジェクトアンケート23社・デッチ2社・インターンシップ43社・企業ガイダンス10社)回収率推移H.24年度約20%、H.25年度96%、H.26年度42%、H.27年度76%、H.28年度90.6%、H.29年度100%、H.30年度92.3%、2019年度100%、2020年度100%、2021年度100%。